



平成27年12月 9日
福島河川国道事務所
磐城国道事務所
小名浜港湾事務所

企業の方々による現地視察のお知らせ
～ 国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会 ～

国道115号相馬福島道路 道路整備に関する懇談会では、平成27年3月から関係機関とともに相馬福島道路の利活用による経済・観光振興等地域化の取り組みについて議論しているところです。

今年度、懇談会メンバーである福島市において、相馬福島道路の利活用による意向を確認するために行った企業アンケートの中から、国道115号や相馬港を利用している、または利用意向のある企業の方々を対象とした「現地視察」を行います。

【開催概要】

- 日 時：平成27年12月11日（金）12：30～17：00
- 見学場所：相馬港、国道115号相馬福島道路【別紙1参照】
- 参加者：福島市等の企業の方々 約7名（7社）
- 内 容：事業概要説明・工事状況見学・相馬港ポートセールス等
- その他：取材を希望される方は、12月10日（木）16：00まで下記担当にご連絡願います。

国土交通省 福島河川国道事務所
調査第二課 専門官 阿部千枝
電話 024-539-6128

〈発表記者會〉 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、いわき記者会
いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課、南相馬市役所記者クラブ

【問い合わせ先】

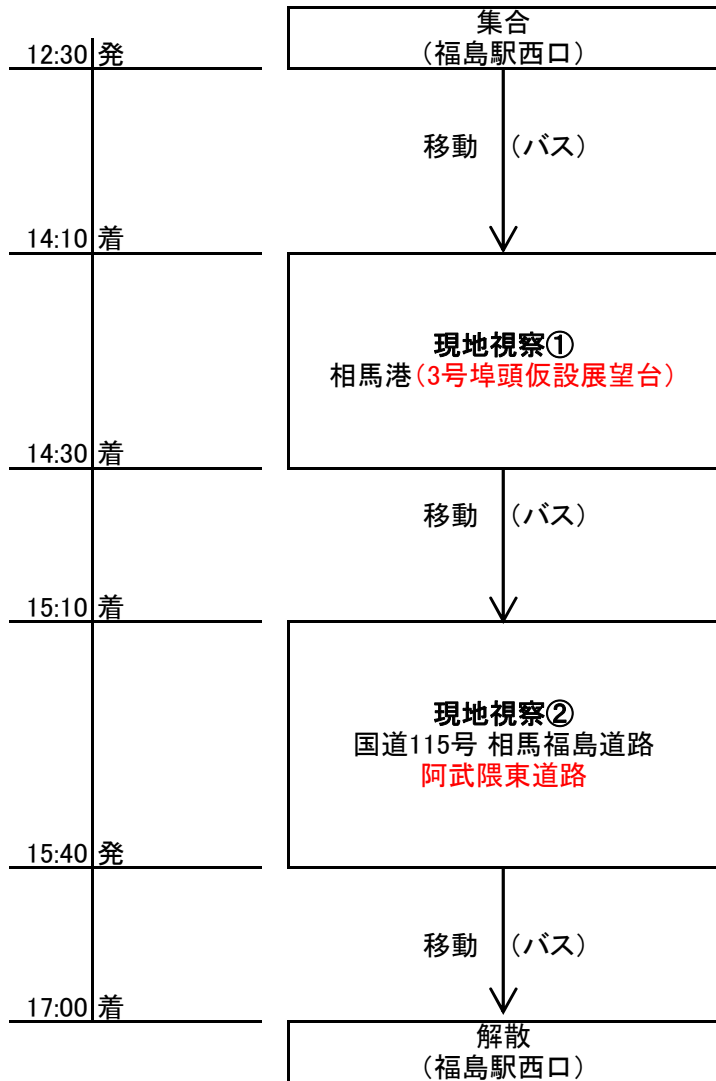
国土交通省 東北地方整備局

福島河川国道事務所 調査第二課長 いがらし しゅんいち 五十嵐 俊一
TEL 024 (539) 6128

磐城国道事務所 調査課長 いたがき ひろみ 板垣 浩美
TEL 0246 (23) 0963

現地視察 行程

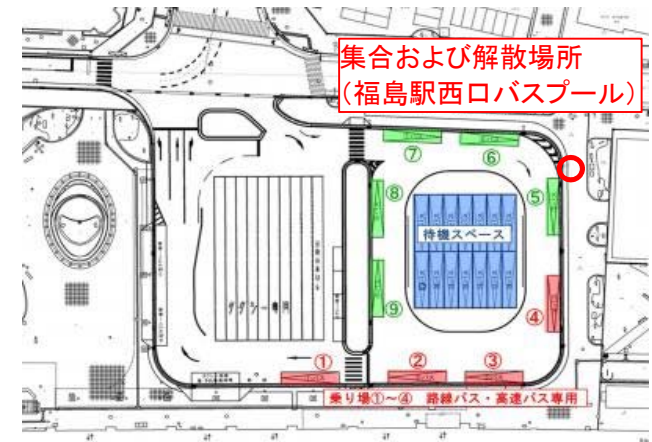
日程：平成27年12月11日(金) 12:30～17:00



①相馬港



◆集合および解散場所：福島駅西口バスプール



②相馬福島道路(阿武隈東道路)



※当日の取材に関する問合せ先
福島河川国道事務所 五十嵐(携帯:090-3360-4696)

【復興支援道路】一般国道115号 相馬福島道路の概要

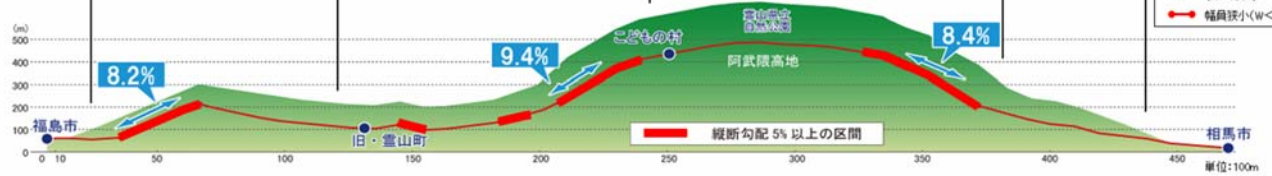
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



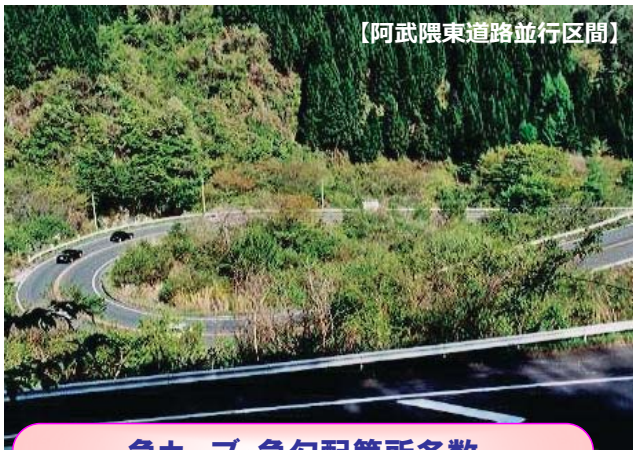
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

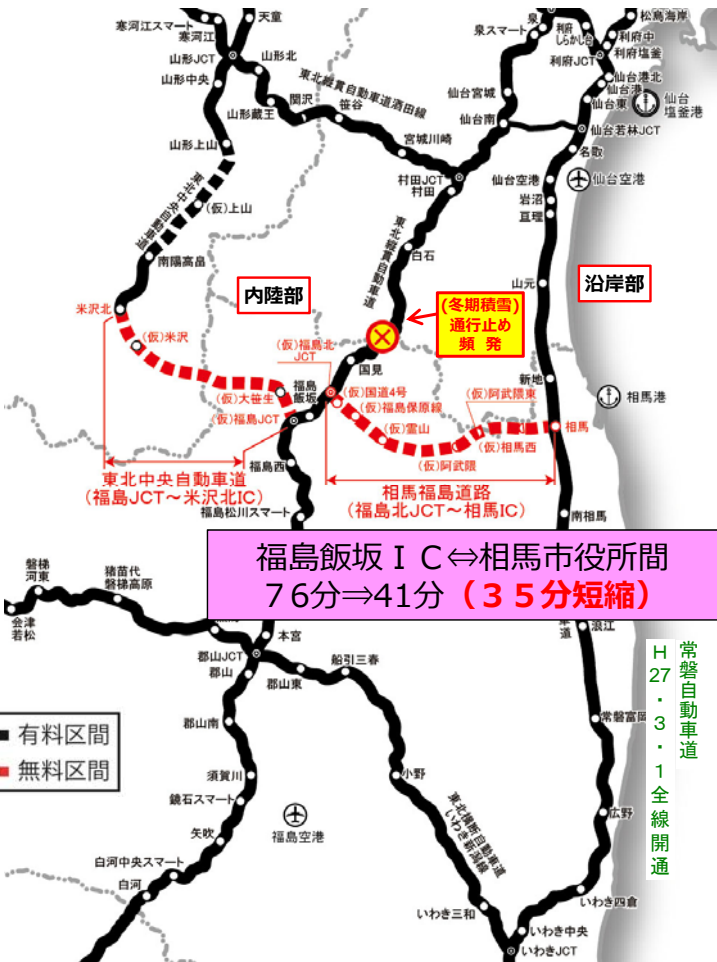


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



・相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)



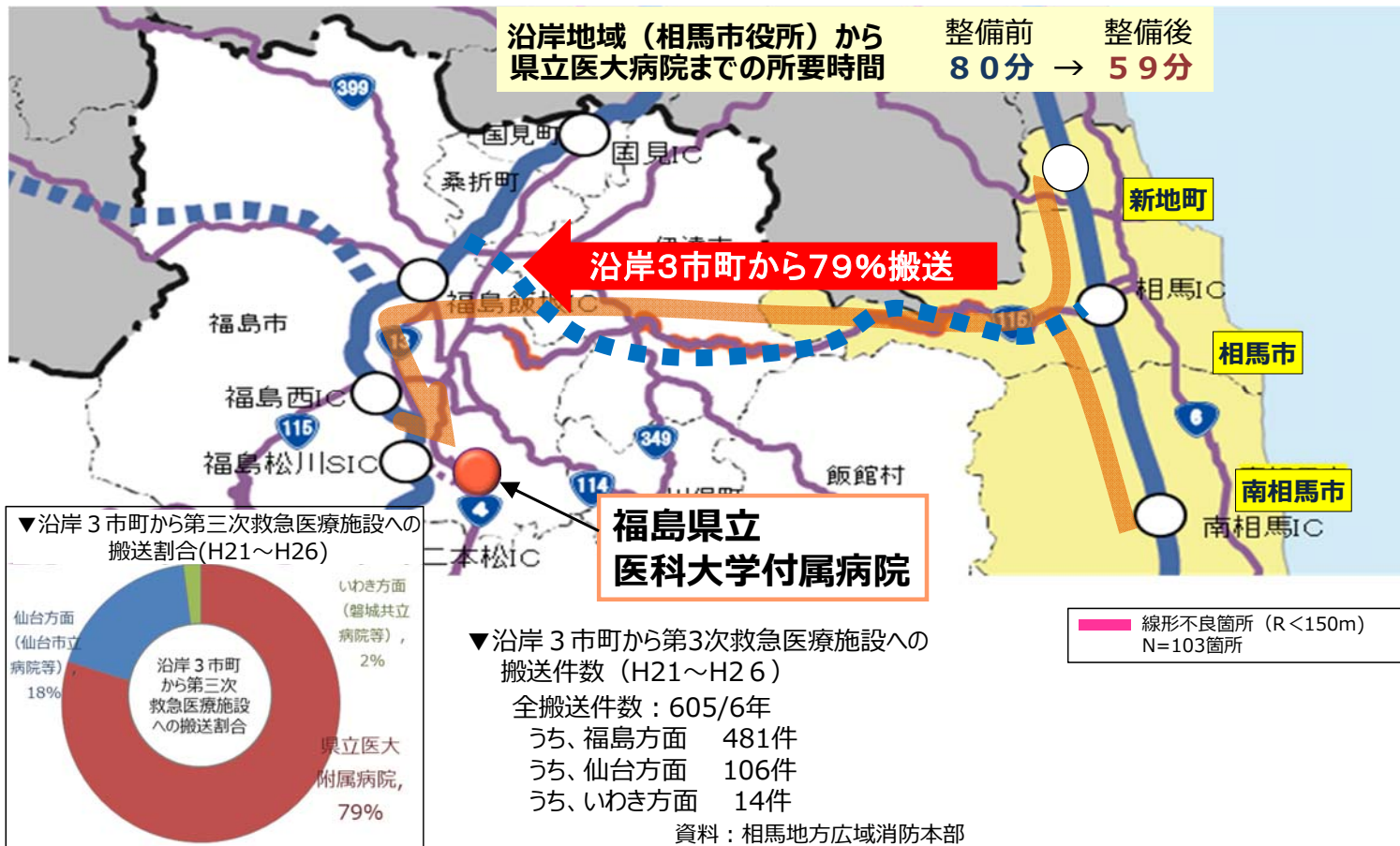
国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

- 緊急輸送道路 (第一次確保路線)
- ▲ 防災上の対策が必要な箇所 (26箇所)
- × 通行止リスク箇所
- 津波浸水被害エリア

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

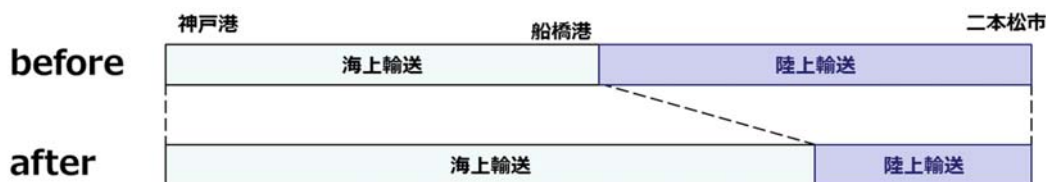
《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



相馬港